

意見交換における本部委員の主な意見

□第四次改定案について

[全般]

- ・多くの実績・成果が出ていることに、県をはじめとする関係者のご努力に感謝する。
- ・産業戦略の取組は非常に重要であり、期間を延長していただくことに感謝している。この1年間でしっかり仕上げをお願いしたい。
- ・進捗状況が不十分であったものについては、要因を分析し対策を行うことが必要。

[瀬戸内産業の強化]

- ・国際バルク戦略港湾をはじめとする港湾整備、工業用水や道路網の整備を着実に進めていただいております。引き続き着実な整備をお願いします。
- ・国際バルク戦略港湾の成果が出てきているところであり、港湾運営会社の設立に向けて官民一体となって進めていきたい。
- ・企業誘致については、部品メーカー等が、従来の工場では対応できない先端の技術・工法、安全技能等に対応するため行う工場新設に着目してはどうか。
- ・コンビナート連携で防災や人材育成、規制緩和に取り組んでおり、引き続き進めていきたい。
- ・コンクリート舗装はインフラの長寿命化に向け有効な取組であり、積極的に活用されたい。

[成長分野への展開]

- ・再生医療について、研究からいよいよ事業化の段階にきたのではないかと思います。
- ・技術革新や再生医療について大学と県がしっかり連携して進めていきたい。これまでの連携以上に産業・雇用の創出を目指していく中でベンチャー企業への資金供給は重要な課題。
- ・IoT、ロボット技術導入は中堅・中小だけではなく大企業も入れて情報をシェアすることが望ましい。
- ・人づくりは企業、社会で永遠の課題。学校教育において、技能だけでなく人としての力をあげることが必要。
- ・人材の確保に向け、山口県は工業高校、高等専門学校が充実していることはメリット。引き続き、こういった環境を維持いただくとともに、企業もPR等に努めて行きたい。
- ・就職後、早期に離職する者がおり、人を定着させる施策について、その分析から進めていくことが必要。

[人・物の交流、売り込みの推進]

- ・インバウンドにおける路線の継続や搭乗率の向上に向け、タクシーやバスのおもてなしのレベルアップが必要。
- ・観光に多くの予算をさいていただき県の知名度もあがってきている中で、今年・来年は重要な年。山口県のブランドを浸透させるには、長州・維新というキーワードが重要。
- ・DMOの取組を進めていきたい。本部委員や産業戦略アドバイザーを始めとした産業界と連携してMICEやビジネストラベルの取組も進めたい。
- ・観光関連産業をぜひ新分野の成長産業に位置付け、振興していただきたい。
- ・インバウンド拡大に向け無料Wi-Fiの整備やクルーズ船のポートセールス等の取組を引き続きお願いする。
- ・首都圏等への売り込みに向け地域商社の設立を進めているところであり、地域の活性化に向け県とも引き続き連携していきたい。

□その他

- ・成果について数値で具体化されわかり易くなったが、県民により伝わるようグラフや表など見せ方も工夫してはどうか。
- ・保育所について、会社の近くに預けることができるよう市をまたがった広域連携ができるようにしてほしい。